

報告事項に関する参考資料

本事業は、社会的影響が大きい事業であり、事業の効果とあわせて、「客観的評価指標」を用いた評価を実施。

「客観的評価指標」による評価

事業採択の前提条件を確認するとともに、事業の効果や必要性を評価するための指標で評価指標の政策目標である、「活力」、「暮らし」、「安全」、「環境」の各項目のチェックを行い、評価を実施

【評価内容】

- ・活力：円滑なモビリティの確保、都市の再生、個性ある地域の形成
- ・暮らし：歩行者・自転車のための生活空間の形成
- ・安全：安全な生活環境の確保、災害への備え
- ・環境：生活環境の改善・保全、他のプロジェクトの関係

【評価結果】

- ・多くの指標において、効果が確認できた。

客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道2号 神戸三宮駅交通ターミナル整備
事業主体	国土交通省

凡例	
	: 効果が確認された指標
	: 整備効果の結果で確認

事業採択の前提条件を確認するための指標

		指標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	便益が費用を上回っている	-
	事業実施環境 (新規事業採択時)	ルート確定済	都市計画手続き中((仮称) 神戸三宮雲井通5丁目地区都市再生事業)である。
		円滑な事業執行の環境が整っている	事業化に向けた事業計画とりまとめの段階から開発予定者、神戸市、学識経験者と議論・調整を行っている。
	事業の効率性	都市計画手続等、環境影響評価の手続等の着手に必要な調査が完了している	都市計画手続き中((仮称) 神戸三宮雲井通5丁目地区都市再生事業)である。

事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指標	指標チェックの根拠
1. 活力	円滑なモビリティの確保	現道等の年間時間損失及び削減率	-
		現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	一般国道2号等の旅行速度の上昇 ・ 13.0km/h 15.5km/h (一般国道2号等の神戸三宮駅前付近 約1km)
		現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	-
		現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	路上のバス停の集約による乗換利便性向上
		新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	路上のバス停が神戸三宮駅前空間に集約されることで交通モードの乗換利便性が向上し、新幹線、特急停車駅へのアクセス性が向上
		第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	-
	物流効率化の支援	重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	-
農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上		-	
現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する		-	

1. 活力	都市の再生	都市再生プロジェクトを支援する事業である	-	
		広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	-	
		市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	神戸三宮雲井通5丁目地区第一種市街地再開発事業	
		中心市街地内で行う事業である	神戸三宮駅前で行う交通結節点事業	
		幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	-	
		DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	-	
		対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	-	
	国土・地域ネットワークの構築	高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)としての位置づけ有り	-	
		地域高規格道路の位置づけあり	-	
		当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	-	
		当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	-	
		現道等における交通不能区間を解消する	-	
		現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	-	
		日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	-	
	個性ある地域の形成	鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	-	
		拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	-	
		主要な観光地へのアクセス向上が期待される	-	
		新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	-	
	2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上全ての該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	-
			バリアフリー新法に基づく特定道路が新たにバリアフリー化される	-
		無電柱化による美しい町並みの形成	対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけあり	-
市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)の幹線道路において新たに無電柱化を達成する			-	
安全で安心できるくらしの確保		三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	-	

3. 安全	安全な生活環境の確保	現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	-
		当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上(当該区間が通学路である場合は500台/12h以上)かつ歩行者交通量100人/日以上(当該区間が通学路である場合は児童、園児が40人/日以上)の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	関連事業(デッキ、三宮クロススクエア)と一体となって快適な歩行空間を創出
	災害への備え	近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1-2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	-
		対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業5ヶ年計画に位置づけのある路線(以下「緊急輸送道路」という)として位置づけあり	「緊急輸送道路」に位置づけ。
		緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	-
		並行する高速ネットワークの代替路線として機能する(A'路線としての位置づけがある場合)	-
		現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	-
現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	-		
4. 環境	地球環境の保全	対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	-
	生活環境の改善・保全	現道等における自動車からのNO2排出削減率	-
		現道等における自動車からのSPM排出削減率	-
		現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	-
		その他、環境や景観上の効果が期待される	関連事業(デッキ、三宮クロススクエア)と整合を図り、環境や景観を確保
5. その他	他のプロジェクトとの関係	関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	三宮クロススクエア整備との連携
		他機関との連携プログラムに位置づけられている	神戸市「神戸三宮「えき=まち空間」基本計画」に位置づけ
		その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	防災機能の向上、地域経済の活性化、新たな技術・サービスの発展